



ネットヨタ三重&つうぴー編集室 presents

部活応援隊が行く!!

セントヨゼフ
女子学園
美術部編

思い思いに作品を手がける

セントヨゼフ女子学園 美術部

水彩や油彩など、それぞれのスタイルで自由に作品づくりに励む美術部。週2日と活動日が限られる中、高文祭や私学展に向けて、試行錯誤を繰り返して広がります。



Q1 美術部の魅力は何ですか？

A1 (安保さん) 何を描くか、どんな画材を使うかなど自分のやりたいことを自由に決められるのが魅力です。

部長 安保 心也美さん (あほう みやび)



Q2 部長として心がけていることは何ですか？

A2 (安保さん) 部長として自覚を持った作品を高文祭に出品したいと頑張りました。

副部長 ダグラス 芽さん (だぐらす めぐ)

Q3 美術部のいいところは？

A3 (安保さん) 先輩後輩の上下関係が厳しくなくて、気軽に話ができる和気あいあいとした雰囲気があります。



▲ウミガメネットワーク三重からの依頼で中学・高校生共同制作の壁画

Q4 美術部としての目標を教えてください。

A4 (ダグラスさん) 高文祭へは、高文祭への出品、中学生は私学展への出品に向けて作品を手がけています。



▲三重県警察本部にて、ポスターデザインに選ばれた際の感謝状贈呈時

二次元コードを読み取ると美術部のコメントが見られます。

Q5 美術部の課題はありますか？

A5 (ダグラスさん) 1週間に2日しか活動がないので、限られた時間の中で、いかに完成度を上げることが課題です。(中嶋先生) 高文祭は完成度の高さが評価につながります。週2回と短い活動だと、期日に間に合わせることに注力してしまい、熟考する時間を取れないのが課題です。またデジタルに興味のある生徒が増えている中で、デッサンなどの基礎を磨くのも課題です。



顧問 中嶋 恵子先生

顧問 海住 宏子先生

Q6 今後どのような部にしていきたいですか？

A6 (ダグラスさん) お互いを助け合えるような関係性を大事にしなが、厳しすぎず楽しく活動を続けていきたいです。(中嶋先生) 共同制作の機会も増やしていきたいです。

Q7 部活を通じて生徒さんに学んでほしいことは？

A7 (中嶋先生) どんなことでもチャレンジしてもらいたい。また経験したことないことを、挑戦したいことを、自分を抑えずに解放してもらいたいと思っています。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!